

論理国語

後期第五回レポート

知識における作者性と構造的性

***学習目標** インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深めよう。

◎レポートの各設問について

- ① P262 ② P262 ③ P23
 - ④ P264に出ています。
- ※匿名…本名を隠すための名

二 教科書の脚注を確認しましょう。もちろん辞書で調べてもいいです。

- ① アクセシビリティ P262参照
- ② 剽窃 (ひょうせつ) P263参照

三 辞書や便覧(P475)を使って調べること。

四 「学生がネット情報をコピーしてレポートを作成する」(P262・3)について、問題となるケースはどのような時か。

引用する際を守るべきルール

- ・ 出典を明らかにする。
- ・ 自分の文章と引用した文章は区別して表記する。
- ・ 「」などで引用は区別する。

五 「そんなことをしているのは変化に追いつけない」(P262・9)とあるのはなぜか。

「そんなこと」とは指示語です。その直前の文章を確認しましょう。文字数が指定されている時はそれを守ること。

六 「知識の構造」(P265・12)とは、どのようなものか。

直前の形式段落の中に「知識の樹」というたとえで説明されています。「状態」と説明されています。その部分をまとめましょう。

※問いが「どういうものか」とあるので、文末は「そのもの」としましょう。

七 「適当なリンクをいくつも探し出してきてくれる」(P266・8)とはどのようなことか。

リンクの例では個々の要素との関係が知らなくても直接必要な情報だけを手に入れることができます。その反面つながりや関連する情報を新しく知ることや、気づくための機会を奪われるのは難しいことです。

思考判断表現 問題

「よい読書」(P267・5)とはどのようなものか。

「よい読書」はその論理的展開を読み込んで「いける」とあります。論理的展開についてはP262に述べられています。その部分をよく読み、まとめましょう。

思考判断表現 問題

「悪い読書」(P267・5)とはどのようなものか。

「悪い読書」を説明する内容に「表面上の」「表面の情報」という表記があります。また、「部分部分を」という表現があります。それらは、悪い読書に関するキーワードとなります。その部分をまとめてみましょう。

主体的態度 問題

あなたは「ネット検索」も読書も経験したことがあると思います。その経験の中で読書の方がいいと思われる部分を考えてまとめてみましょう。

本文以外の例と書きましたが、本文には、求めている情報以上に興味深い事例を発見する例が書かれていたことが、そのような内容であなたが経験したようなことなどを書いてみていいです。

NHK高校講座 論理国語

知識における
作者性と構造的性1



知識における
作者性と構造的性2



知識における
作者性と構造的性3



後期第五回レポート

提出期限 一月二十一日(水)

【消印有効】